

論文要旨

博士後期課程 経営学専攻 2021 年度入学

黄嘉欣

本研究はアメーバ経営導入企業である巨龍光学（福建）有限公司（以下、「巨龍光学」と略称する）の事例研究を中心に、中国におけるアメーバ経営の導入と定着に至る実態に焦点を当て、現地調査を通じて巨龍光学におけるアメーバ経営導入による会社の変化についての詳細な事例を提示し、導入の背景・プロセス・効果・特徴を明らかにすることを目的とする。

2023 年 3 月末時点で、稲盛和夫の著書の累計発行部数が全世界で 2,500 万部を突破している。その内訳は、日本国内が 29%、海外が 71%であり、特に中国では海外の 93%を占める部数で、中国の企業経営者がアメーバ経営や稲盛経営哲学に注目し、関心の高まりが表れている。

巨龍光学は中国の民営眼鏡製造会社であり、労働集約型の伝統的製造業として、厳しい外部環境下でアメーバ経営を活用して優れた経営成績を収めている。巨龍光学は創業から 20 年以上にわたり、4 つの発展段階を経験してきた。第 3 段階からは、稲盛哲学の学習とアメーバ経営の導入を開始し、企業経営の目的を明確にし、アメーバ経営の実践により急速な発展ができた。董会長が 2015 年に盛和塾に入塾した後、継続的な学習と模索を通じて、巨龍光学のアメーバ経営導入の具体的な方法論を 5 つのステップにまとめた。それは、「点燃梦想（夢を点火する）、激发良知（良心を引き出す）、改变思维（考え方を变える）、数字经营（数字で経営する）、命运共享（運命を分かち合う）」である。

数年間の実践と努力により、巨龍光学の業績が著しく向上し、従業員の健康、生活環境、収入、仕事への情熱、達成感など多くの方面で幸福感が大幅に高まった。また、新型コロナの流行を機に、新しいビジネスモデルを確立し、100%輸出の企業から、中国国内市場への開拓も始まった。

以上の検討から、巨龍光学におけるアメーバ経営の導入について、「中心人物の存在」「稲盛経営哲学に関する長期間の学習と浸透」「インセンティブにおける精神面と金銭面の均衡」という 3 つの特徴が観察されている。

最後に、経営トップの意識改革による会社の成長発展とそこに働く全従業員の物心両面の幸福の実現ができた成功例として、巨龍光学におけるアメーバ経営の進展には引き続き注目が必要である。また、今後の課題として、現場従業員の視点からのより客観的な評価を得るために、参与調査とアンケート調査も実施しなければならない。